

ステロイド治療について

- 現在のあなたの病状はく >と考えられます。
- 体内にはウイルス、ばい菌などの体の外敵に対抗する「免疫系」という防御機構があります。この免疫系が、体内で不都合を招き（この辺の原因はあまりよくわかっていません）、自分の体が自分を攻撃する場合があります（自己免疫疾患）。この場合、免疫力を下げる薬剤を用いることがあります。
- ステロイドはこういった免疫を抑制する作用の薬の代表です。
- もともとステロイドは副腎皮質という内臓で作られるホルモンで、体の中にあるものですが、生体内の用量を越えて投与するとさまざまな効果を得ることができます。リウマチ・喘息などをはじめ各種の病気を鎮静化することができますし、とりわけ病状が重い時にステロイドが唯一の治療であることがあります。

ステロイドには、残念ながらいろいろな副作用があります。

- ・感染症
- ・消化管粘膜傷害（胃潰瘍、胃炎など）
- ・糖尿病
- ・緑内障・白内障のリスク、もしくは悪化
- ・骨粗鬆症
- ・不眠・精神不安などの精神症状
- ・満月様顔貌・体重の増加など

ステロイドの副作用は、投与の総量に比例します。従って長期に連用するとそのリスクは蓄積するのは事実です。

ただ、現在のあなたの病状は、治療にステロイドを使用せず経過をみると、内臓に重大な影響を及ぼし、あきらかに寿命に影響する可能性があります。

我々としてはできるだけステロイドの量を切り下げて使用することを目標といたします。またステロイドの弊害については、早期にチェックを行ない、予防措置を行ない対応します。

以上の説明をうけました

説明者 _____ 科 _____

年 _____ 月 _____ 日 _____